

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		タブレットでプレゼンをする
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(職業)
	単元・題材名	職場実習激励会と報告会
	授業の目標	職場実習に向けて、内容を確認し他者に発表することで気持ちを高める。 職場実習を終えて学んだことや将来に向けた気持ちを振り返り、他者に伝える。
	学力の3要素	<input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (1, 2)年 (4)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 日常会話は可能。自分の気持ちを伝えることも可能。難しい言葉の理解や他者の言葉の真意を読み取ることが難しい生徒が多い。抽象的な概念の理解は難しい。手指の操作性については、麻痺がほとんどない生徒が1名で他3人は麻痺があり、細かい操作が苦手である。4人とも普段は車いすを利用。うち、2人は椅子への移乗が可能。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) 職場実習に関してネット検索などで実習先について調べたり、事後の振り返りで手書きでまとめたもの(ワークシートや写真)を発表するに当たって、実物投影機を利用するより、タブレットのカメラ機能を使い、写真を拡大縮小することで、自分が伝えたい内容を強調するなどして表現できるように考えた。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	タブレット端末(iPad)、アプリ「カメラ」「写真」、AppleTV、テレビ(50インチ) 
授業展開	授業展開・支援の手立て	事前学習では、実習先についてネット検索などで住所、電話番号から実習の内容、日程など必要な情報を調べた。それをワークシートにまとめ、さらに色画用紙に貼ってまとめた。 事後学習では、実習の内容や感想などワークシートにまとめたり、写真にコメントを書いたりしたものを色画用紙に貼ってまとめた。自分がまとめた色画用紙をiPadで写真にとり、それをもとに一人ひとり、順に発表をした。注目してほしいところ、話すところが分かるようにiPadの拡大縮小機能を使って発表した。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	タブレットを扱うことで自己有用感を感じている様子があり、自信をもって発表していた。慣れていないところもあり、拡大するポイントを忘れることもあった。パソコンのソフトやアプリを使ってまとめることには、まだまだ時間がかかり、一人では難しい面があるが、手書きでまとめたり、プリントした写真を貼ったりしたものを写真に撮りタブレットで扱うことで、パソコンのソフトやアプリ、実物投影機より操作も楽で有効だった。